

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

（あて先）松本市長

（申請者） 松原地区町会連合会

1 交付決定額

I	金 550,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名：防災活動支援事業				
実施主体	松原地区町会連合会・地区公民館・地区防災防犯部会			
実施日（期間）	年間			
実施場所	松原地区公民館・山梨県立防災安全センター			
事業概要	地区住民を対象とした防災意識アンケート調査の実施 防災講座の実施(全3回) 山梨県立防災安全センターで、災害に関する学習と地震等の体験 「地震がおきたら」リーフレット作成。町会員に配布			
地域づくりの 成果・効果	事業で学んだ事を通して、災害時の行動についてブラッシュアップし、町会の災害 対策の強化と各家庭における日ごろの備えに関する啓発の必要性を再確認すること ができた。さらに、災害時の行動を示したリーフレットを作成し、町会員に配布した。			
課題	町会未加入者について、日ごろの備えの啓発及び災害時の連携を見据え、町会 への加入促進の必要性がある。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	33,136円	20,000円	10,000円	3,136円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：高齢者サロン支援事業				
実施主体	松原地区町会連合会			
実施日（期間）	年間			
実施場所	松原町内公民館他			
事業概要	町内公民館他で、地区の高齢者を対象として百歳体操を行い、その後、井戸端会議の場を設ける。（町内公民館設置のAEDリース料を含む。）			

地域づくりの 成果・効果	定期的実施することで、住民が気軽に集まり、自身の体力維持と相互のコミュニケーションを図る機会として定着し、参加者も増えつつある。また、定期的に参加していた方の欠席が続くと他の参加者が心配するといった見守りにもつながっている。			
課 題	一層参加者を増やし、仲間づくりを進めたいが、会場が狭く、手狭になっていることもあり、新たな会場・グループを作るための働きかけを来年度以降検討したい			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	84,825円	84,825円	円	円

③ 事業名：生涯学習支援事業

実 施 主 体	松原町会連合会・地区公民館			
実施日（期間）	年間			
実 施 場 所	松原地区公民館他			
事 業 概 要	地区住民同士と一緒に講座を受講したり、視察研修に出かけたりすることで閉じこもりを防止し、社会参加促進に資する。合わせて、地区住民が課題と感じている事をテーマに講座を開催し、今後の地域の課題解決のための知識を身に着ける。			
地域づくりの 成果・効果	地区住民が興味を持てる視察研修を企画することで、参加のきっかけとなり、ひろばや公民館事業への参加につながった。また、町会デジタル化学習会で先進事例を聞くことで、次年度町会長を始め役員の中でデジタル化について早急に進める意識が高まった。			
課 題	平日実施が多いため、参加者が高齢者中心になってしまう。今後は、地域コミュニティを作るために、多様な世代が興味を持ち、参加できる企画や講座を検討していきたい。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	69,095円	35,595円	10,000円	23,500円

④ 事業名：地域包括ケアシステム推進事業

実 施 主 体	松原地区町会連合会・地域包括ケアシステム推進委員会			
実施日（期間）	年間			
実 施 場 所	松原地区公民館			
事 業 概 要	町会連合会の理事を中心に、センター、公民館、福祉ひろば、地区担当職員も加わり、地区に必要な地域包括ケアシステムを推進する。 認知症について理解を深めるための企画の開催			
地域づくりの 成果・効果	超高齢化社会を迎えてもいきいきと暮らせる地区の在り方を見直す中で、住民相互の助け合いによる地区住民の結びつきを深められる。 講座を通して、認知症への理解を深めることで、地域包括ケアシステムの構築の重要性を認識できる機会となった。 また、会議の在り方を見直し、バラバラに実施していた、ひろば事業、地区社協、地域包括ケアシステムの会議を一つにまとめて地域福祉全体を話し合っていくよう整理した。			
課 題	講座への参加者が比較的固定化している。高齢化が急激に進む中、潜在的な要支援者が増えることが予想されるため、地域で見守るシステムづくりやそれを認知される仕組みづくりが急務である。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		

		a	b	c
	55,343円	55,343円	円	円

⑤ 事業名：第2ふれあい健康教室支援事業

実施主体	松原地区町会連合会・福祉ひろば			
実施日（期間）	年間			
実施場所	松原地区福祉ひろば、地区公民館			
事業概要	ふれあい健康教室ほどの体力は必要とせず、若干の運動程度はできる（やりたい）高齢者を対象に軽い体力づくりの講座等を毎月第3水曜日に実施 2月には、地区社協主催のふれあい会食会とタイアップして実施。			
地域づくりの成果・効果	体力が衰えつつある高齢者に楽しく今ある体力を維持してもらえるよう軽い運動をしながら相互の交流を図り、地区におけるフレイル予防に寄与する。 自身の体力に合わせた企画がある事で、地域とのつながりが継続できる。ふれあい会食会とタイアップして実施した企画では、これまで企画に参加していなかった方の獲得にもつながった。			
課題	参加者のほとんどが女性であることから、男性の参加者が継続できない状況が見られる。			
決算額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	45,111円	35,000円	10,000円	111円

⑥ 事業名：子ども育成・子育て支援事業

実施主体	松原地区町会連合会・地区公民館			
実施日（期間）	年間			
実施場所	松原地区公民館他			
事業概要	地区の子どもたちを対象に、自然と触れ合う機会やモノづくりの体験等のイベントを実施する。また、小中学生と大人で交流できる講座を開催。今年度は、年末に地域の方に協力いただき、餅つき大会を実施。			
地域づくりの成果・効果	長期休業を中心に、子どもに多様な体験機会を作ることで、地域全体で子育てを支える機運の醸成が図れた。			
課題	今年度から、子ども会育成会も廃止されるため、保護者も企画や運営に参加するようなしかけづくりが必要			
決算額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	136,194円	75,394円	20,000円	40,800円

⑦ 事業名：モール活性化事業

実施主体	松原地区町会連合会・松原モールぷろじえくと			
実施日（期間）	年間			
実施場所	松原ショッピングモール、地区公民館			

事業概要	地区の象徴的な施設である松原ショッピングモールについて、地区のボランティアによる清掃とからくり時計台を中心としたコンサート等の企画を実施。			
地域づくりの成果・効果	地区のシンボルとして、美しい景観の維持と、コンサートを行うことで、かつての人が集い、賑わいのあった頃の松原ショッピングモールを復活させるまちづくりの一環を担う。			
課題	現在のボランティアの人員だけでは、今以上の企画の実施は困難なため、新たなボランティアの募集が必要。			
決算額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	17,925円	4,935円	12,990円	円

決算額（計） （①+②+③）	A + B + C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	441,629円	311,092円	62,990円	67,547円

A：各事業のaの合計額
 B：各事業のbの合計額
 C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名：防災備品 資金積立事業					
積立目的	災害に強いまちづくりを進めるために、防災倉庫を購入し、指定避難所である明善中に設置する。				
積立期間	令和4年度から 令和7年度まで （本年度 4年目）				
積立ての目標金額	570,000円				
積立実績	区分		積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計
	前年度までの積立経過		円	円	330,000円
		1年目	165,000円	267,860円	227,140円
		2年目	165,000円	円	392,140円
		3年目	80,000円	円	472,140円
	本年度の積立実績		D160,000円	E 円	F632,140円
合計額			570,000円	267,860円	
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体					
実施日（期間）					
実施場所					
事業概要					
地域づくりの成果・効果					
決算額	E + G		財 源 内 訳		
			E	G	

充当後の積立事業取扱方針				
積立継続（ 年度まで）・ 廃止				
廃止する場合は、積立金残高（F）の処理方法				

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I－A－D	金 78,908円
-------	----------------

[参考]繰越上限額＝I×2／10